

第5回「夏目漱石のつどい」講演と朗読

講師 **姜尚中** 東京大学名誉教授



日時 11月1日(土)
午後1時半～4時
(開場1時)

場所 広島市まちづくり
市民交流プラザ
北棟5階研修室 A.B.C
(広島市中区袋町 6-36)

入場 無料 定員150人(受付順)

主催 広島市立中央図書館
「漱石と広島」の会

協力 済々黌広島同窓会



漱石は東アジアの共通文化財

～魯迅(中国)・李光洙(韓国)とのつながり

カン・サンジュン 1950年生まれ。政治学者。熊本県立劇場館長。著書に「悩む力」「最後の講義」など

「漱石は私のメンター(成長の支援者)」という姜名誉教授。漱石の書く「時代へのなじめなさ」が心にしみ、といいます。最近、気がついたのが、東アジアでの漱石への関心の高まり。そこには何があるのでしょうか。漱石と、間接的に影響を受けた中国と韓国の二人の作家とのつながりから見えてくるものは…

姜さんからのメッセージ

漱石文学は日本の国民文学にとどまらず、東アジアで分かち合える共通の「文化財」です。漱石を通じて日本・中国・韓国3カ国の文化の「広場」について語り合いましょう。

【朗読】

『夢十夜』から

第一夜、第七夜

県立広島国泰寺高校放送部

申し込み ①メール(yuzou-mura4116@green.megaegg.ne.jp)か、②往復はがき(〒739-1734広島市安佐北区口田2-26-6 村上雄蔵あてに住所、氏名、電話番号を記載、あればメールアドレスも)のいずれか。難しい場合は電話 090-6415-4592(石田)まで